



副官會同會報事項(第三八號)

昭和十九年十月十八日
軍司令部 部

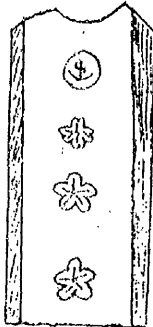


軍司令部連絡並要望事項

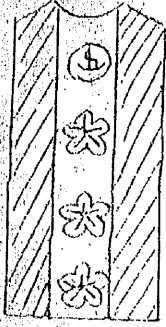
一 陸海軍相互ノ敬礼ニ就イテ公函ニ注意サレアルモ今ダ充分

ナラズ矣ニシテ海軍側ノ階級章ノ判別ヲ知ラサル者アリト思

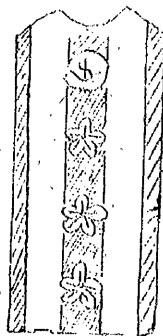
考セララルニ付キ左ノ記圖解ヲ参考トセヨト教育指導ヲ要望ス



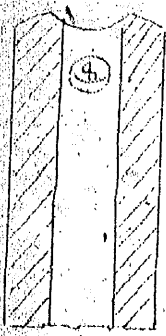
上段の海軍大將
中將の桐花三ツ
少將の桐花一ツ



上段の海軍大尉
中尉の桐花三ツ
少尉の桐花一ツ

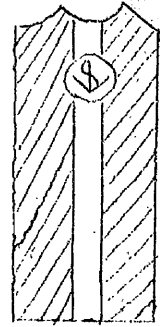


上段の海軍大佐
中佐の桐花三ツ
少佐の桐花一ツ



上段の海軍少尉候補生

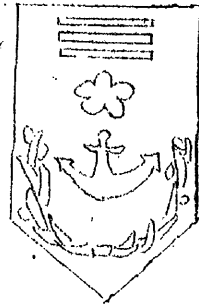
0086



上図ハ海軍任番長
海軍少尉候補生ト區別ハ金線ノ大小ニ依リ判別ス

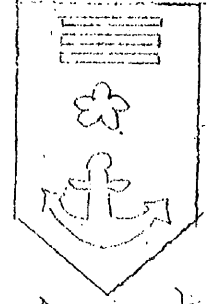
以上ハ海軍准士官以上ノ夏衣肩章ナルモ襟章ニ於テモ同様ナリ

下士官



上図ハ上等下士官
金線ノ二本ナルハ一等下士官
金線ノ一本ナルハ二等下士官

上図ハ兵長



金線ノ二本ナルハ上等兵
金線ノ一本ナルハ一等兵

右階級章ハ右腕ニ附シアリ

0087

ノ十月十日空襲ニヨル兵器損傷概況及修理進捗状況ニ関シテハ

電話及口頭ヲ以テ通報アリタルモ尚書類ヲ以テ兵器部宛

通報相成度 本件ニ関シテハ作戦要務令、戦時兵器勤務

令、軍兵器要務規定等ニ示サレテル事項ニシテ尚軍兵

器部ヨリ各隊へ通牒セル所ナルヲ以テ速カニ書類提出相成度

現在迄ニ書類ヲ受領セシ部隊名左ノ如シ

(一) 第二移動兵器修理隊 (四) 軍通信隊

(二) 沖籠陸軍病院 (三) 沖籠兵站地区隊

之軍兵器修理所ハ從來ノ施設、大部ヲ軍被服庫陣地内

0088

軍医部

1 空襲ニ因リ避難民各地域ニ分散シ又一部傳染病患者行方不明トナリ傳染病原撤布ノ算アリ各兵团(部隊)ハ病毒搬入防止ニ留意セラレ度

2 昭和十九年九月三日陸密第三七二八號ニ依リ消毒包ハ衛生材料ニ移管セラレタルハ曩ニ軍医部ヨリ通牒シタル所ナルモ各隊ハ速カニ現有材料ヲ調査シ確實ニ移管上爾後ノ使用ニ備ヘラレ度

3 各隊ハ軍医將校ヲシテ部隊一部ノ人員ニ対シ衛生濾水機ノ使用法ニ付機会ヲ永メ教育ノ普及徹底ヲ圖ニレ度

0090

々前回會報時戰車部隊之質疑ニ對シ左記を以テ回答ス

質疑

外地ニ在ル部隊皇院患者ハ内地ニ遷送スル如クサレアルモ

當部隊ハ現在九州ニ於テ入院セル兵アリ之ハ治療後現地

ニ來ルヤ不ヨヤ

回答 現地派遣途中朝鮮又ハ九州(其他内地全般)ニ於テ入院

セル患者ノ所屬ハ昭和十五年陸軍第一〇〇號中左記ニ據ル如

ク定メラルアルニ付承知セラレ度

左記

帝國內ニ在ル部隊ニ屬シ帝國內ニ於テ陸軍病院ニ入院シ其ノ
所屬部隊帝国外等ニ派遣セラレタル時同一ヶ月以上治療ヲ

0091

要スルモノト決定シ又所屬部隊ノ派遣夜ニ於テ危篤ニ陥リタル者ハ
帝国内ニ在ル部隊ノ所屬ニ移ル

註「一月以上治療ヲ要スルモノト決定シタル日ヲ以テ留守擔任部

隊ノ所屬トナル

0092